

# 八月読み取りおけいこ（高）③

名前（ ）

① 何の話でしょう？

（ ）檀林皇后（ ）おしょらい迎え

（ ）清水焼（ ）陶器まつり

八月七日から十日まで五条坂では陶器まつりがおこなわれます。もともとこの時期は「おしょらいむかえ」と言つて、お盆の時期に家に帰つてくるご先祖さまを迎えて行

く時期です。京都では東大谷や六道の辻へ出かける人が多かつたので、そのお参りの人に買ってもらおうと、近くの清水焼の職人さんがお店をだしたのがはじまりです。

平安時代は平安京エリアの中におはかを作ることはできなかつたため、西は化野、北は蓮台野、東は鳥辺野に死者を葬りました。

陶器まつりの行われるあたりはちょうど鳥辺野の入り口にあたります。近くには六波羅蜜寺や珍皇寺などがあり、人々はそこでコウヤマキの枝を買い、迎え鐘をつき、枝に乗り移らせて大切に家の仏壇までご先祖さんを運ぶのです。

この辺のお寺には九相観の屏風がかざつてあることもあります。十二単の檀林皇后の体が死後くさり、ウジにくわれて骨になり犬にくわれて風に散り、なくなるまでの絵がかかれています。世の中の無常を教え、限りある時間を大切にしないといけないことをわからせるためのものでした。

六道の絵も地獄の様子がおどろおどろしく描かれ、悪いことをしたら死んだあと、こうなるよ、と聞かされた子ども達はふるえあがつたものでした。

あめかい幽霊（ゆうれい）でも知られる「ゆうれいあめ」も売られています。もし、陶器まつりにいくのなら、ぜひ六道の辻へも足をのばしてください。こわくてたのしいところですよ。

音読サイン→

できばえは？



② 平安京のおはかを作るときのきまりはどんなことでしたか？

（ ）檀林皇后（ ）おしょらい迎え

（ ）清水焼（ ）陶器まつり

（ ）化野・鳥辺野・蓮台野の共通点は？

（ ）陶器まつりの行われるあたりはどこの入り口ですか？

（ ）ご先祖さんをのせるものはなんですか？

（ ）九相観の屏風は何のために作られたのですか？

（ ）九相観の屏風はどこで作られたのですか？

（ ）陶器まつりは友禅染の職人さんがはじめた。

（ ）十二単の人はくさらない。

（ ）六道の辻はこわくてたのしい。

（ ）六道の辻はこわくてたのしい。

（ ）上の話の感想を五行でまとめましょう。